

**染谷** 八日市市は56年国体の時に婦人会、青年会、区長会、老人会など、さまざまな団体が「花いっぱい運動」や「清掃活動」を進めました。運動は「まちをきれいにする八日市市民運動推進協議会」に受け継がれ、現在まで続いています。

**吉田** 琵琶湖を汚さないために石けん使用を普及する運動については、52年頃から婦人会が取り組んできました。いま、「まちをきれいにする運動」でも進めています。定期的にシンポジウムも開き、講演会やパネルディスカッション、小中学生の作文発表などを行っています。参加者も300人を越え、まちのみなさんの関心は高いですね。

まちの明日をになう子供たちに水への関心を深めてもらうと、子供たちといっしょに川の水と生き物を調べる「親子水探検隊」や、ゴミ処理施設の見学を通して資源の大切さやゴミ減量化について知ってもらう「缶・ビン探検隊」などの活動も進めています。

**染谷** 「親子水探検隊」は10年続いていて、毎回たくさん参加希望者があります。「まちをきれいにする運動」への市民のみなさんの意識は高く、事務局としてサポートをつとめる私たちもやりがいがありますね。

**吉田** 今年は廃食用油(天ぷらの後の油など)を回収し、BDF(バイオ・ディーゼル・フューエル)というディーゼル油の代替燃料にしてリサイクルする運動をはじめました。新しい活動に取り組み時はいつも、まず私たち自身が勉強します。運動として広めていくには、市の方との連携も大切ですね。

**染谷** ゴミ回収などの活動も盛んですね。平成9年度はアルミ缶回収が約19トン、古紙回収が約734トンです。これはほんの一例ですが、み

# 琵琶湖もまちも美しく

## 八日市の水質浄化運動

**染谷克己さん**  
まちをきれいにする  
八日市市民運動  
推進協議会事務局  
八日市市民部  
生活環境課課長



**吉田富美子さん**  
まちをきれいにする  
八日市市民運動  
推進協議会副会長  
地域婦人団体  
連合会会長

なさんが頑張った成果ですね。

**吉田** 「まちをきれいにする運動」は今年、国土庁の「水資源功績者表彰」を受けました。いままで琵琶湖を美しくする運動に積極的に携わってきた努力を評価してもらって大変嬉しいです。なおいっそう頑張りたいですね。八日市市のみなさんだけでなく、下流の方たちにも水質浄化のために頑張ってもらいたいと思います。

**染谷** 八日市は琵琶湖に面していないまちなんです。八日市から出た水は琵琶湖に結果的に入ってしまいます。守山市の赤野井湾にホタルや魚の住む美しい湖を取り戻そうと、流域をきれいにする運動を進めているのも、そのためなんです。



**吉田** そんな活動の楽しみは見学や勉強を通して、視野が広がること。そして仲間ができることですね。若いお母さんたちは子供のために、大変だけど運動は続けなくてはと思っておられますよ。

**染谷** ある時、子供たちがゴミ収集について質問してきたので、清掃業の人たちがパツカー車を小学校まで運転して行って、実演してみせたことがあります。すると後日、子供たちからたくさんお礼の手紙が来て、ゴミ収集の大切さについて子供たちなりに思ったことが一生懸命に書いてありました。嬉しかったですね。環境問題への取り組みは毎日の地味な努力の積み重ねですが、そんな声に支えられて頑張れるんだと思います。

お一人のお話を通して、きれいなまち、きれいな琵琶湖を守るために、たくさんの方が毎日努力されていることが、とてもよくわかりました。水質浄化は琵琶湖と淀川流域にたずさわる人すべての問題です。これからもさらに努力の輪が広がれば素晴らしいですね。

(取材/ピラズ通信編集部)